

心臓血管放射線研究会学術研究助成
学会報告記

氏名 高木 英誠
所属機関名 (発表時) 岩手医科大学病院 放射線科
発表学会名 ASCI2017 (口演発表)
学会開催年月日 2017年 6月 1日～ 3日
演題名 Diagnostic performance of Coronary CT Angiography with Forward-projected model-based Iterative Reconstruction Solution (FIRST) at lower radiation dose
優秀論文賞受賞 無 ()
学会報告記 (800字程度・写真1枚)

◇本 文

今回、ASCI2017に参加、口演するにあたり、心臓血管放射線研究会学術研究助成を頂き、心より御礼申し上げます。ASCI2017は大会長佐久間先生(三重大学)のもとウエスティン都ホテル京都にて行われました。心臓血管放射線研究会との併催でしたが、折角の機会ですのでASCIに演題をサブミットしました。ASCIには初めての参加でしたが、特別講演、教育講演に招かれている海外の先生がかなり豪華であったのが非常に印象的でした。特に私の知る中では、Dr. João Lima (Johns Hopkins University)はかの有名なCORE64やCORE320 trialのprincipal investigatorを勤められていたかたですし、Dr. Jonathan Leipsic (University of British Columbia)も前回のSCCT meetingの会長を勤められ、TACI-CTやFFR-CT関連の論文、講演などでよく名前を見る先生です。そういった論文上でしか知らない先生達の講演を生で聞けるというのは非常に勉強になりましたし、なにより目標とするにはかなり高い気がしますがモチベーションになりました。その他にも、今回は日本開催ということもあり、各種講演では心臓血管放射線研究会でお会いする私よりも少し上の世代の先輩方が大活躍されておられました。数年後に自分がああいった場に立てるかどうかが、具体的な目標として捉えることができ、これもよいモチベーションになりました。

下の写真は、ASCI懇親会の様子です。右から大田先生(東北大学)、私、Sunさん(東北大学)、樋口先生(東北大学)(ご本人らの許可を得て掲載)。忍者 Showとそれを見て大喜びする海外の方々非常に印象的でした。次の日の朝は宿泊先のホテルから清水寺までランニングでき、充実した日程を過ごすことができました。今回は大変貴重な経験をさせて頂き誠に有り難うございました。また今回主催の三重大学の先生がたにもこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

